






理事長	施設長	副施設長	事務長	総務課長
				

令和元年度 法人本部事業報告

社会福祉法人同仁会

令和元年度 事業報告書

1、会務の状況

(1) 理事会、評議員会、監事監査・評議員選任解任委員会等の状況

1) 理事会

① 第1回理事会

日時 令和元年6月7日(金) 14時00分から15時20分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 平成30年度事業報告の承認について

第2号議案 平成30年度収支決算の承認について

第3号議案 社会福祉法人同仁会 第20期 理事・監事候補者について

第4号議案 令和元年度第1回評議員会の開催(案)について

第5号議案 「かごしまおもいやりネットワーク事業」への加入について

【報告事項】 ・職員の異動について

② 第2回理事会

日時 令和元年6月21日(金) 17時30分から18時00分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 社会福祉法人同仁会 第20期 理事長の選任について

第2号議案 社会福祉法人同仁会 第20期 業務執行理事の選任について

③ 第3回理事会

日時 令和元年11月1日(金) 17時00分から18時00分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 令和元年度 第1回理事長及び業務執行理事の業務執行報告(案)について

【報告事項】 ・令和元年度における指導監査結果について
・令和元年度医療法第25条第1項に基づく立入検査の結果について
・職員の異動について

④ 第4回理事会

日時 令和元年12月12日(木)14時00分から15時00分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 令和元年度第1次補正予算(案)の承認について

第2号議案 令和元年度第2回評議員会の開催(案)について

第3号議案 令和元年台風豪雨被害における義援金の承認について

④ 第5回理事会

日時 令和2年3月11日(水)14時00分から16時30分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 令和元年度第3回評議員会の開催(案)について

第2号議案 令和元年度第2次補正予算(案)の承認について

第3号議案 令和2年度事業計画(案)の承認について

第4号議案 令和2年度当初予算(案)の承認について

第5号議案 就業規則一部改正(案)の承認について

第6号議案 給与規程一部改正(案)の承認について

第7号議案 非常勤職員就業規則一部改正(案)の承認について

第8号議案 ホームヘルパー就業規則一部改正(案)の承認について

第9号議案 私有車管理規定一部改正(案)の承認について

第10号議案 令和元年度第2回理事長及び業務執行理事の業務執行報告(案)について

【報告事項】 ・職員の異動について

2) 評議員会

① 第1回評議員会

日時 令和元年6月21日(金)16時00分から17時20分

場所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議案

第1号議案 平成30年度事業報告の承認について

第2号議案 平成30年度収支決算の承認について

第3号議案 「かごしまおもいやりネットワーク事業」への加入について

第4号議案 社会福祉法人同仁会 第20期 理事・監事の選任について

【報告事項】 ・職員の異動について

② 第2回評議員会

日 時 令和元年12月20日(金)17時00分から18時00分

場 所 さつま町健康ふれあいセンター「あびーる館」

議 案

第1号議案 令和元年度 第1次補正予算(案)の承認について

- 【報告事項】
- ・令和元年度における指導監査結果について
 - ・令和元年度医療法第25条第1項に基づく立入検査の結果について
 - ・令和元年 台風豪雨被害における義援金について
 - ・令和元年度第1回理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
 - ・職員の異動について
 - ・その他

③ 第3回評議員会

日 時 令和2年3月18日(金)14時00分から15時30分

場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

議 案

第1号議案 令和元年度 第2次補正予算(案)の承認について

第2号議案 令和2年度 事業計画(案)の承認について

第3号議案 令和2年度 当初予算(案)の承認について

第4号議案 就業規則一部改正(案)の承認について

第5号議案 給与規程一部改正(案)の承認について

第6号議案 非常勤職員就業規則一部改正(案)の承認について

第7号議案 ホームヘルパー就業規則一部改正(案)の承認について

第8号議案 私有車管理規定一部改正(案)の承認について

- 【報告事項】
- ・令和元年度第2回理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
 - ・職員の異動について

3) 監事監査

日 時 令和元年5月29日(水)

場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室

- 内 容
- ・社会福祉法人同仁会役員等の業務について
 - ・平成30年度事業及び決算について

4) 内部経理監査

日 時 令和元年 10 月 17 日 (木)
場 所 さつま園事務所及び地域交流室
業 務 会計処理等について
実施者 施設管理次長 井ノ原 邦彦
業務管理次長 上原 耕三

5) 評議員選任・解任委員会

日 時 開催無し

2. 総務・事務

目標

- ①物品係との連携を図り、発注漏れの無いようにする。
- ②価格調査を実施し、経費節減を図る。
- ③年休簿・特休簿の更新を確実にを行う。
- ④研修の把握をする。
- ⑤節電・節約を周知する。
- ⑥健康診断・腰痛検査等の予定を早期に計画する。
- ⑦来園者への丁寧な接客を行う。
- ⑧福利厚生の実施を図る。

反省

- ①物品係と常に連携を取り、発注漏れ等は無くスムーズに行えた。
- ②価格調査は、物品毎に行い同じ質で安価な物を提供できた。
- ③年休簿・特休簿の更新は確実に行えた。
- ④職員一人一人の研修会参加の把握は出来ていた。
- ⑤節電・節約の周知は行えたが徹底出来ていない事もあり、再度周知徹底を行い経費節減に取り組んでいく。
- ⑥健康診断・腰痛検査は予定通りの実施が出来ていた。
- ⑦来園者の方へは、常に笑顔で好感のもてる挨拶を心懸けて実施出来ていた。
- ⑧職員・役員交流会等を計画し、福利厚生の実施が図られた。

3. 事業の成果

(1) 固定資産取得支出

①建物

- ・特別養護老人ホームさつま園 中庭 物置設置工事
金額 906,000 円 (税込)

②器具及び備品

- ・特別養護老人ホームさつま園 ショート居室 エアコン 1台
金額 440,000 円 (税込・既設分処分費含む)
- ・特別養護老人ホームさつま園 包丁まな板殺菌庫 1台
金額 183,600 円 (税込)
- ・特別養護老人ホームさつま園 座位保持リクライニング車椅子 2台
金額 216,000 円 (非課税)
- ・特別養護老人ホームさつま園厨房 製氷機 1台
金額 280,500 円 (税込)

(2) 消耗器具備品費・修繕費・福利厚生費等

①消耗器具備品費

- ・特別養護老人ホームさつま園
ティルト車椅子 1台購入 金額 59,500 円
エアーマット 3台購入 金額 112,200 円

②修繕費

- ・特別養護老人ホームさつま園
ルノイド 駆動定量ポンプ取替一式 金額 100,000 円
業務用エコキュート修繕一式 金額 151,200 円
吸収冷温水機用ポンプ交換一式 金額 432,000 円
浄化槽原水ポンプ交換工事一式 金額 144,100 円
ナースコール設備改修工事一式 金額 132,000 円
LED モールライト街路灯 2基交換 金額 115,000 円
- ・さつま園デイサービスセンター
照明器具関連取替一式 金額 100,000 円
AC-2 系統空調機修理一式 金額 183,276 円
浴槽ろ過機 5方弁交換一式 金額 378,400 円

③福利厚生費

- ・法人本部
役員賠償責任保険 金額 86,000 円
- ・特別養護老人ホームさつま園
看護師傷害保険料 (5名) 金額 20,200 円
職員一般傷害保険料 金額 443,280 円
健康診断料 (夜勤者 21名) 金額 138,348 円
腰椎検診料 (36名実施) 金額 295,988 円
インフルエンザ 予防接種代 (56名実施) 金額 187,800 円
健康診断料 (49名) 金額 331,727 円

職員交流会 金額 165,148 円

- ・ さつま園デイサービスセンター
 - 腰椎検診料（11名実施） 金額 49,742 円
 - インフルエンザ 予防接種代（11名実施） 金額 41,800 円
 - 健康診断料（11名） 金額 77,301 円

- ・ さつま園在宅介護支援センター
 - インフルエンザ 予防接種代（1名分） 金額 3,800 円
 - 健康診断料（1名分） 金額 7,119 円

- ・ さつま園ヘルパーステーション
 - インフルエンザ 予防接種代（6名分） 金額 15,300 円
 - 健康診断料（2名分） 金額 13,734 円

- ・ 居宅介護支援事業所さつま園
 - インフルエンザ 予防接種代（2名分） 金額 7,600 円
 - 健康診断料（2名分） 金額 13,608 円

(3) 備品処分

- ・ 特別養護老人ホームさつま園厨房 製氷機 1台
取得年月日：平成14年3月1日 平成31年3月末帳簿価格 1円

(4) 介護保険事業

1) 施設・各事業所

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホームさつま園）

利用者定員 70名（従来型個室20名）（多床室50名）

・ 延べ利用者数 23,481名（64.1人/日）

766名減 前年度比96.8% 稼働率91.6%

さつま園会計支出按分比率 87%

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

利用者定員 10名

・ 延べ利用者数 4,088名（11.1名/日）

37名増 前年度比100.9% 稼働率111%

ショートステイ会計支出按分比率 13%

③通所介護事業所（さつま園デイサービスセンター）

利用者定員 40名

・延べ利用者数	8,291名	(27.01名/日)	営業日数	307日	
介護延べ	4,667名	前年度比	94.6%	266名減	
予防延べ	2,942名	前年度比	117.9%	446名増	
総合事業延べ	682名	前年度比	87.5%	97名減	

④訪問介護事業所（さつま園ヘルパーステーション）

・延べ利用者時間	3,691時間	30分	実人数	46名	(前年度比 9名減)
身体介護	566時間	00分	(819件)	前年度比	312時間00分減
生活援助	1,369時間	30分	(1,596件)	前年度比	56時間45分減
身体生活	643時間	00分	(565件)	前年度比	132時間00分増
総合事業	1,113時間	00分	(1,113件)	前年度比	192時間00分増

⑤居宅介護支援事業（居宅介護支援事業所さつま園）

・介護計画作成件数					
介護給付	842件	前年度比	103.0%	25件増	
予防給付	124件	前年度比	91.2%	12件減	
合計	966件	前年度比	101.3%	13件増	

(5) 委託事業（さつま町委託事業）

1) 在宅介護支援事業（さつま園在宅介護支援センター）

- ・さつま町在宅介護支援センター総合相談業務委託
年間延べ相談件数 157件 前年度比 55.7% (125件減)
- ・さつま町認知症カフェ設置業務委託
年間 18回開催 1回当たり 8名程参加
- ・ふれあいサロン、ころばん教室等への参加

令和元年度全事業所 事業報告

施設長 柿 添 信 義

令和元年度事業報告

1. 社会福祉法人同仁会経営の原則

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2. 介護の基本理念

高齢者が自らの意志に基づき自立した質の高い生活を送ることができるように支援していく。(自立支援の原則に沿って利用者個々の QOL の向上を目指す。)

3. 施設の理念及び方針

- (1) 利用者に対して尊敬の念を持ち、個性を尊重し利用者、家族の意向を十分取り入れた介護計画に沿って、利用者個人がサービスを決定できるよう援助し、より良いサービス提供に努める。
- (2) 地域への貢献を念頭に、家族・地域住民との連携を密にし、情報の公開、提供及び施設開放に努める。
- (3) 施設は、適切な経営を行えるよう研鑽を重ね、基盤強化、効率化に努める。
- (4) 個人情報保護の遵守

4. 今年度最重点目標

気持ち良いあいさつをしよう！

自分がして欲しくないことを我々は絶対しません！

一人の社会人として常識ある発言・行動をします！

(1) 利用者様中心に（小さな変化を見逃さない）

利用者が喜ぶことをいっぱい計画しよう・家族とのつながりを深めよう

ナースコールへの対応 苦情及びリスク管理の構築・記録体制の充実

(2) 全員で取り組むケアの質の向上

「初心」に帰って取り組もう（スキルを磨こう）・施設内研修の充実

「なぜ・どうして」を常に意識していく仕組み

(3) 職員間の徹底した連携（報告・連絡・相談）

些細な事でも共有する・記録を見る習慣化

(4) 法人としてのガバナンスの強化・コンプライアンス維持の徹底

社会福祉法人として「法令順守」は当然のことであり、職員全員が意識して取り組んでいく、研修体制を確立する。社会人としての常識あるモラルの徹底。

5. 施設・事業所重点目標

(1) 利用者様に対して出来ることはしていただき、出来ないことを支援していく仕組みの確立（残存機能を意識して）

(2) 医療介護の連携（かかりつけ医との連携・看取り介護の充実等）

(3) 職員が働きやすい環境整備

「働き方改革」を推進していく仕組みの構築・辞めない職場作りを

(4) 職員の資質向上

職員全員がスキルアップを目指し、自己改革、自己研鑽、法人研修会等積

極的に参加し、又、資格取得へ積極的に取り組む。利用者個々のアセスメント、ケアプランを十分理解した上で支援する。外部講師を招聘し、新人教育及び職員研修の充実を図っていく。

- ・資格取得のための支援（環境支援）
- ・OJT・エルダー制度の確立

(5) 情報公開の確立

「かごしま子育て応援企業」・「ユースエール認定企業」としての誇りを持って前向きに取り組んでいく

ホームページによる情報開示・財務内容の開示

さつま園だよりの定期発行・各種チラシ等の作成

(6) 経費節減

職員個々が施設運営に関心を持ち、経費節減に努める。

(7) マニュアルの周知徹底

マニュアルを熟知し、統一した対応を実践していく。

(8) 地域との連携及び社会活動への取り組み

地域に根ざした福祉拠点としての活動、地域交流室の開放及び利用者を含め地域活動へ積極的に参加・貢献していく。オレンジカフェの広報活動
他法人と合同の地域貢献活動の実践

(9) 職員のメンタルケア

全職員のストレスチェックを通して「心の健康づくり」の保持増進を図る。

以上最重点目標及び重点目標を掲げ、職員一同ご利用者様のために頑張ってきました、しかしながら、まだまだ技術的に未熟な点があることも否めない所である。設立38年目を迎えてはいるが、そのキャリアが未だ生かされていない面もあり、初心に帰ってご利用者様に対して心を込めた処遇を目指していきたいと思っています。施設では、入院者が引き続き多い状況となっており、短期入所生活介護でカバーする等努めてはいるが、絶対的数値ではなく苦戦しているのが現状である。また、居宅サービス事業所では、デイサービスは昨年並みに推移しているが、人件費や経費等でやはり苦戦している状況である。訪問介護は利用者減であるが、ヘルパーさんたちに頑張ってもらっている。居宅・在介はさつま町の人口減少を考えると今後も現状で推移すると予想される。

昨年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルスにより、ほとんどの会議やイベント等が中止あるいは延期を余儀なくされ、計画自体を変更せざるを得ない状況である。また、コロナウイルスが発生する前より施設の面会制限を実施しているために、ご利用者様及びご家族に大変ご迷惑をお掛けしているところである。そのためこれまで以上にご利用者に対するメンタル面のケアを行っていくよう指示したところである。またご家族に対しては、携帯電話と施設タブレットをラインで結びライブで交流が出来るように工夫したところである。

【利用者処遇について】

○リスク管理マネジメント

一年を通して、転倒事故が発生し三件の骨折に繋がってしまいました。認知症の方に関しては予測もしない行動をとられることもあり、大きな事故に繋がりがねないこともあり、またご家族からのクレームになることも多く、慎重にケアを実施していく必要がある。ヒヤリハット及び事故報告の検証を行いリスクをできるだけ減少させていくことに努める。

○入所待機者について

さつま町内の人口減少特に高齢者の減少に伴い、入所待機者も比例して減少している状況がある。今後もこの状況が続くと思われ、現状を分析していくことが重要だと思われる。救いは、さつま園に単独で入所を希望されておられる方も多く、この方々と密にコンタクトをとり、入所に至るまでの指導・支援を行っていくことが重要となる。

○総合事業について

昨年十月の消費税10%アップに伴い、さつま町よりアップ分の回答を得たことより、何とか総合事業については収支のバランスは取れていくものと思われる。介護認定が厳しくなっており、総合事業に対しては注目していく必要がある。

○社会貢献について

鹿児島県社会福祉法人経営者協議会が運営している「おもいやりネットワーク」に今年度より加入し、主に生活困窮者に対して支援していく仕組みを構築していくこととなる。今の所利用される方がいない現状であるが、まだ支援等の内容をアピール出来ていない面があるため、地域の方々に仕組みを知っていただくことが最優先だと考えています。生活相談員が中心となり、地

域の状況を把握できるように努めていきたいと思っています。また、認知症予防のためのオレンジカフェを月2回実施しているが、やはり施設までの交通の便が災いしているためか、参加者が増えない状況にある。在宅介護支援センターが中心となり今後もアピールに努めていきたいと思っています。

【職員処遇について】

○働き方改革

4月より開始された「働き方改革」を実現すべく有給休暇の計画的付与でスタートしましたが、ある程度計画通り全ての職員が5日以上の有休を取得できたようである。働き方改革に限定されずリフレッシュ休暇等も与えていますが、出来れば連続取得を目標にしていますが、限られた職員数のこともあり出来ていないのが現状である。今後の課題でもある。

○人材確保について

年間を通じて人材確保が出来なかった状況であった。3月中に予定していました外国人雇用に対して、現地（ベトナム）に行く事も新型コロナウイルスのため中止になってしまい前に進んでいない状況です。鹿児島に在住の留学生にも的を絞り学校側と話し合いもしているが、難しい状況である。とにかく新型コロナウイルスが収束しない事には今の所難しい状況が続くものと思われる。日本人に目を向けていく必要性を感じているところである。

○研修体制

偶数月に実施している法人研修には受講者の数も増えてきており、意識改革も行われているものと思っています。発表できる場を提供していく中で職員が自ら発表、受講することで成長していってくれればと願っています。職員が一体となって取り組んでいけるよう創意工夫していきたいと思っています。

○腰痛対策





法人研修の中で外部講師として現在腰痛防止に取り組んでいる施設に講師として来ていただき、実技を通した研修を行っていただきました。まず、備品からの購入を検討し一から取り組んでいきたいと思っています。将来的には有効な介護ロボットの購入も視野に入れていきたいと思っています。

【理事会・評議員会】

- 理事会・・・令和元年6月7日 令和元年6月21日 令和元年11月1日
令和元年12月12日 令和2年3月11日（第1回～第5回）
- 評議員会・・・令和元年6月21日 令和元年12月20日
令和2年3月11日（第1回～第3回）
- 監事監査・・・令和元年5月29日

【収支バランス】

特別養護老人ホームに関しては、施設及び短期入所生活介護をトータル的に見ると施設整備費が何とか算出出来た状況である。居宅介護サービスに関しては、デイサービスセンターは、何とか昨年並みに確保できたが、人件費も年々増加することを考えると、今後も安定した利用者の確保が大事になると思われる。ヘルパーステーションは、利用自体が減少傾向にあり、今後もこれ以上の期待はできないと思われる。また、ヘルパーの新規採用は不可能に近く、現在のヘルパーさんたちも疲労が重なる中、頑張っている。トータル的には現状で推移してくれればと願っています。在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所は、介護保険でいう要の事業所として赤字状態はやむを得ない所であるが、今後高齢者の減少を考えると新規利用者の確保を期待したいところである。

理事長	施設長	副施設長	事務長
			

平成31年度
(令和元年度)

さつま園事業実績報告

(介護老人福祉施設事業)

(短期入所生活介護事業)

令和2年5月
さつま園

平成31年度 目標

施設管理課

1. ケアプランの確実な作成と24時間シートを活用したケアマネジメントシステムの確立。
2. 個人情報保護の管理の徹底に努める。
3. 適切な施設経営を行うための効率化、稼働率の高水準確保に努める。
(長期入院の場合の退所の見極めと利用者及び家族への十分な説明とフォローの実施)
4. 地域との連携を強化し、利用者と地域との交流をもてるように努める。
5. 地域包括ケアシステム推進の観点から、施設での看取り介護についての啓発と実施を図る。
6. 短期入所に関する啓発を図り、利用促進につなげる。
7. 入所待機者の把握に努め、スムーズな入所につなげる。合わせて、地域への啓発・広報を強化し入所待機者の確保を図る。

評価:

- ケアプランの作成が追いつかず、利用者や職員に迷惑をかけた。
- 入院者が多く入所利用者の稼働率は低下したが、短期入所の利用啓発等により短期入所利用の実績が伸び、地域貢献に繋がった。
- 待機者への事前の連絡等により、欠員補充としての入所手続きはスムーズに行えた。

介護職員

1. 利用者のこころと言葉に寄り添い、安心して施設生活を送って頂けるように支援する。
2. 初心に戻り、利用者主体の基本的介護を実践していく。
3. ケアプラン、24時間シートの把握、活用と記録の充実を図り、職員間で情報共有することで、各利用者へのケアの統一とより良いケアに繋げる。
4. 職種間、多床室、個室職員間等、些細なことでも情報共有し、連携を徹底する。

評価:

- 不適切な態度や言葉使いなどで注意を受けることもあり、利用者への十分なこころのケアができなかった。
- ケアプランや24時間シートのとの連動による統一したケアの提供が十分に行えなかった。
- 概ね情報共有はできたが、細かいことや職種間の情報共有が不十分であった。

看護職員

1. 利用者の体調変化には早めに気づき、的確な対応に努める。
2. 医療機関との連携を密にし、必要時の適切な対応が出来るように努める。
3. 職種間の連携を図り、必要な医療行為を適切に行う。
4. 看取り介護、中重度者介護に積極的に取り組む。
5. 看護記録を充実させる。

評価:

- 体調の変化を早めに気づくことで、医療機関との連携を図ることができたが、看取り介護については、社会的背景などの影響もあり家族等の理解が得られにくいこともあった。

機能訓練

1. 他職種と個々の利用者様の情報を共有し、日常生活の中で訓練を取り入れ、機能維持・向上を図る。
2. 利用者様個々の思いを出来るだけくみ取り、活気や楽しみのある日常生活を送れるよう支援する。
3. 機能訓練計画の作成、実施、評価を確実に行う。

評価:

・機能訓練を日常生活の中で取り入れ、実施を試みたが、・機能訓練士の配置換えなどもあり実施状況は不十分と感じられた。

管理栄養士・栄養士

1. 他職員との連携を図る。
2. 利用者様個々の食事形態の評価を随時行っていく。
3. 栄養マネジメント・栄養計画を確実に行う。
4. 厨房内の衛生管理を行い、安全な食事提供をする。
5. 日清医療食品との連携を図る。
6. 利用者様に喜んでいただける食事提供をしていく。
7. 給食委員会での協議事項を反映させる。
8. オレンジカフェの円滑な運営を支援する。

評価:

・全体的に目標到達していないため、引き続き目標を継続する。

専門部

行事レクレーション係

- ① 一年間を通じて利用者様に楽しんでいただく行事の企画とスタッフへの指導
- ② 集団活動の内容を係で構成する(月1回)
- ③ レクレーション会議を定期的で開催して活動内容の充実を図る。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価

・定期的に検討会をもち、利用者楽しんでいただくために企画してきたが、職員間の伝達、指導が不十分であった。

給食係

- ① 利用者様個々に合った食事形態の提供と美味しく安全に召し上がっていただけるように努める。
- ② 食事摂取量・水分摂取量のチェック体制を強化し把握に努める。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価:

・定期的に食維持形態の検討を行った。形態の見直しを行い、安全に召し上がっていただくよう努めることができた。

・毎月チェック表の記入漏れがあり、担当を決めて声かけ、確認を行うようお願いしたが、徹底できなかった。食事摂取量、水分摂取量の確認をして、少なめの方は少しでも食べていただけるように努めた。

排泄係

- ① 看護職員と介護職員の情報共有による一人ひとりに合った対策の検討をし、QOLの向上に努める。
(排泄ケア加算への対応)
- ② パッド類の有効活用の検討、排泄関連の必要物品の検討、管理及び職員の資質向上につなげる。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価:

(多床室)

- ・パッドの無駄や漏れがないように一人ひとりの状況をみながらパッドの改善が出来てよかった。
- ・トイレ使用可能の利用者に食後にトイレに座っていただくことに努め、オムツ外しに取り組めた。
- ・職員間で連携しながら下剤の調整などに取り組んだ。変更からの影響について他職員の意見も聞き、また改善していけるようにするべきであると思う。

(カーム館)

- ・定期的に会議を行い情報共有に努め、排泄状況の確認はできていた。
- ・排泄加算への対応はできなかった。

入浴・衛生管理係

- ① 利用者様に満足していただけるような入浴を提供する。
- ② 衛生に十分気をつけ感染予防に努める。
(手袋使用・手洗い・うがいなどのスタンダードプリコーションに努める。)
- ③ 口腔アセスメント表・口腔ケア実施表を使用して確実な口腔ケアの実施に努める。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価:

- ・入浴人数や曜日変更のために利用者の皆さんに迷惑をかけた。
- ・浴槽などの清掃が定期的に出来ず、不十分であった。

リハビリ・装飾構成係(OT係)

- ① 行事関係の写真の撮影及び壁面構成を確実に実施する。
- ② 全利用者様の機能及び活動性の維持・向上のために、機能訓練指導員との連携に努め、適切な機能訓練が確実且つ効果的に実施できるよう全職種への意識付けを強化する。
(関節可動域訓練・ポジショニング・シーティングその他)

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価:

- ・令和元年度は夏から畑を活用して利用者様と野菜づくりを行った。一部の利用者との活動となったが、野菜の収穫をして漬物にして食べたり、お雑煮を作るなどして少しでも利用者の生きがいとなる活動に繋がったのではと思う。
- ・壁面の掲示については、季節に合わせた掲示が間に合わず遅れがちだったが、行事等の写真の掲示は定期的に更新していくことができた。
- ・パソコン内の個人写真の整理は時間の都合により、十分に整理できていない。

物品係

- ① 居室の備品類を把握し、管理に努める。
 - ② 車椅子の在庫管理と現状把握を徹底する。(一覧表を作成し活用する。)
- ※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価:

- ・リネンの整理整頓に心がけることができた。
- ・物品を持ち出す際に、チェック漏れが多く見られ周知徹底ができなかった。
- ・物品の在庫を過剰に仕入れてしまうことがあった。

実習担当係

- ① 実習生が施設に就職したいと思えるような実習指導に努める。
 - ② 実習中に事故が起きないよう職員同士で連携をとる。
- ※適宜検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価:

- ・実習生の腰痛が本人の申告があるまで気付くことができず、無理をさせてしまったと感じている。
- ・多床室、個室の合同での反省会の時間を設けることが出来なかった。

リスク係

- ① 事故・ヒヤリハット報告の検証と防止策の職員への周知に努める。
 - ② 定期的な集計により事故防止対策の啓発を行う。
- ※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価:

- ・転倒転落事故が多かった。
- ・剥離、内出血班など同様の事故を同じ利用者に繰り返してしまったケースがあった。
- ・ヒヤリハット、事故報告書のサイン(確認)が遅かった。
- ・利用者別のリスク内容と対策を一覧表にできなかった。

職員教育係

- ① 新任職員等の指導スケジュールを作成
- ② 新任職員等の相談役として職員間の連絡調整を図る。

評価:

- ・毎月、教育担当職員が新任職員と面談しながら、そのとき毎に振り返り、反省を行った。新任職員の学びの意識も高く、順調に成長が見られている。2年目以降も引き続き研修を継続し、更なる成長を支援していきたいと考えている。

24時間シート係

- ① 24時間シートの作成
- ② 利用者の日常生活の情報収集を管理する。

評価:

- ・24時間シートの作成に努めたが、シートの周知、活用が十分でなかった。

平成31年度(令和元年度)入所・短期入所実績

月	入所	一日当り	短期	一日当り
H31. 4	1889	62.9	313	10.4
R1. 5	1993	64.2	364	11.7
R1. 6	1936	64.5	337	11.2
R1. 7	2014	64.9	370	11.9
R1. 8	2053	66.2	320	10.3
R1. 9	1895	63.1	288	9.6
R1. 10	1941	62.6	391	12.6
R1. 11	1903	63.4	407	13.5
R1. 12	1960	63.2	352	11.3
R2. 1	2008	64.7	274	8.8
R2. 2	1883	64.9	306	10.5
R2. 3	2006	64.7	366	11.8
総数	23481	64.1	4088	11.1
稼働率	91.6%		111%	

短期入所生活介護 年齢別利用者数

さつま園

平成31年4月 ~ 令和2年3月

印刷日 令和2年5月28日

年 区	齡 分	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	左記以外	合計
~ 59	男										
	女										
	計										
60 ~ 64	男										
	女										
	計										
65 ~ 69	男										
	女							65(3)			65(3)
	計							65(3)			65(3)
70 ~ 74	男						5(2)				5(2)
	女							211(9)			211(9)
	計						5(2)	211(9)			216(11)
75 ~ 79	男						181(12)	42(11)			223(23)
	女			5(1)	91(9)	7(2)	53(3)	92(4)			248(19)
	計			5(1)	91(9)	7(2)	234(15)	134(15)			471(42)
80 ~ 84	男				53(5)	165(13)		66(6)			284(24)
	女				70(6)	138(21)	114(13)	16(2)	51(2)		389(44)
	計				123(11)	303(34)	114(13)	82(8)	51(2)		673(68)
85 ~ 89	男				62(5)	20(1)	44(3)	147(8)			273(17)
	女		2(1)	23(3)	218(25)	250(19)	87(15)	133(13)	14(2)		727(78)
	計		2(1)	23(3)	280(30)	270(20)	131(18)	280(21)	14(2)		1000(95)
90 ~ 94	男				89(10)	4(2)	113(6)	109(7)			315(25)
	女		12(4)	24(6)	232(26)	206(26)	308(13)	164(16)	9(1)		955(92)
	計		12(4)	24(6)	321(36)	210(28)	421(19)	273(23)	9(1)		1270(117)
95 ~ 99	男					10(2)					10(2)
	女				64(3)	79(9)	176(15)	63(3)			382(30)
	計				64(3)	89(11)	176(15)	63(3)			392(32)
100 ~	男						1(1)				1(1)
	女										
	計						1(1)				1(1)
合 計	男				204(20)	199(18)	344(24)	364(32)			1111(94)
	女		14(5)	52(10)	675(69)	680(77)	738(59)	744(50)	74(5)		2977(275)
	計		14(5)	52(10)	879(89)	879(95)	1082(83)	1108(82)	74(5)		4088(369)

平均介護度: 2.40 男性: 2.72 女性: 2.29

平均年齢: 87.0 男性: 84.9 女性: 87.7

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX (XXX) 前半の数字は延日数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

特養入所年齢別利用者数

さつま園

平成31年4月 ~ 令和2年3月

印刷日 令和2年5月28日

年区	年齢	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
~ 59	男						366(12)	268(10)	49(2)		683(24)
	女										
	計						366(12)	268(10)	49(2)		683(24)
60 ~ 64	男						195(7)				195(7)
	女										
	計						195(7)				195(7)
65 ~ 69	男							379(13)	366(12)		745(25)
	女										
	計							379(13)	366(12)		745(25)
70 ~ 74	男								355(12)		355(12)
	女							193(7)	366(12)		559(19)
	計							193(7)	721(24)		914(31)
75 ~ 79	男						324(12)		169(7)		493(19)
	女						305(10)	83(3)	366(12)		754(25)
	計						629(22)	83(3)	535(19)		1247(44)
80 ~ 84	男							534(20)			534(20)
	女						1(1)	1093(38)	244(8)		1338(47)
	計						1(1)	1627(58)	244(8)		1872(67)
85 ~ 89	男						851(30)	1525(54)	228(8)		2604(92)
	女						1635(58)	3625(127)	1278(43)		6538(228)
	計						2486(88)	5150(181)	1506(51)		9142(320)
90 ~ 94	男						58(2)	602(25)	788(27)		1448(54)
	女						1689(64)	1790(66)	1634(55)		5113(185)
	計						1747(66)	2392(91)	2422(82)		6561(239)
95 ~ 99	男							340(12)	305(10)		645(22)
	女						123(4)	622(21)	30(1)		775(26)
	計						123(4)	962(33)	335(11)		1420(48)
100 ~	男						366(12)				366(12)
	女								336(11)		336(11)
	計						366(12)		336(11)		702(23)
合計	男						2160(75)	3648(134)	2260(78)		8068(287)
	女						3753(137)	7406(262)	4254(142)		15413(541)
	計						5913(212)	11054(396)	6514(220)		23481(828)

平均介護度: 4.01 男性: 4.01 女性: 4.01

平均年齢: 86.2 男性: 82.6 女性: 88.1

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。

XXXX (XXX) 前半の数字は延日数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	課長	相談員
				

令和元年度 実績報告・反省

さつま園 デイサービスセンター

<実績報告>

- ・年間延べ利用者数 — 8,291名（前年度比 + 83名増）
→年間延べ利用者数内訳（介護4,667名、総合事業2,942名）
- ・年間実利用者数 — 143名
- ・年間営業日数 — 307日
- ・年間1日平均 — 27.01名（詳細については別紙記載）

<反省>

・年間の実績においては延べ利用者数が前年度と比較し83名の増と、大きな変化は見られないが、新規利用者様は前年度とほぼ変わりはないが、施設入所や亡くなられたり、小規模多機能施設を利用される方々が増えた。また、利用されなくなった利用者様が複数回利用の方々が多かった。目立つのは要介護度の低下で要介護2の利用者様の減少、要支援1・2、要介護1の増加が見られた。インフルエンザにおいては元年度は職員1名の感染に留まり流行することはなかったが3月に入りコロナウイルス感染拡大防止の予防対策会議等により検討し送迎時の検温の実施、37.5℃以上の利用中止や、業者や家族の入室制限、一日4回、1回15分以上の換気、送迎終了後の毎日の車内消毒、食事前の手指消毒、おやつ前の洗剤手洗い、マスク着用の声掛け徹底を行っている。今年度も引き続き無期限での感染拡大予防対策の徹底を図っていく。

令和元年度実績報告書

さつま園 デイサービスセンター

年月日	延べ利用者数	実利用者数	介護延べ人数	介護実人数	予防延べ実人数	予防実人数	事業対象者延べ人数	事業対象者実人数	営業日数	1日平均数
H31. 4	719名(+12名)	112名	420名	61名	246名	41名	53名	10名	26日	27.65名
R1. 5	715名(-22名)	111名	428名	63名	228名	38名	59名	10名	27日	26.48名
R1. 6	665名(-65名)	111名	394名	62名	211名	38名	60名	11名	25日	26.60名
R1. 7	696名(-26名)	104名	402名	55名	228名	38名	66名	11名	27日	25.77名
R1. 8	624名(-24名)	109名	357名	56名	213名	42名	54名	11名	24日	26.00名
R1. 9	686名(+41名)	110名	380名	56名	245名	43名	61名	11名	25日	27.44名
R1. 10	761名(+66名)	119名	402名	58名	293名	50名	66名	11名	27日	28.18名
R1. 11	713名(+40名)	118名	389名	58名	266名	49名	58名	11名	26日	27.42名
R1. 12	709名(+28名)	120名	400名	60名	255名	50名	54名	10名	25日	28.36名
R2. 1	658名(+25名)	110名	368名	57名	238名	43名	52名	10名	24日	27.41名
R2. 2	662名(+21名)	109名	369名	54名	249名	46名	44名	9名	25日	26.48名
R2. 3	696名(-13名)	110名	377名	53名	264名	48名	55名	9名	26日	26.26名
計	8,291名	143名	4,667名		2,942名		682名		307日	27.01名

通所介護介護度別推移表 (さつま園デイサービスセンター)

平成30年度	認定無し	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	月計
4月	0	69	61	161	169	188	47	12	0	707
5月	0	71	65	153	180	204	49	15	0	737
6月	0	67	68	137	178	210	61	9	0	730
7月	0	71	75	139	189	174	67	7	0	722
8月	0	63	73	108	170	179	53	2	0	648
9月	0	58	75	109	169	177	45	12	0	645
10月	0	63	78	147	165	168	62	12	0	695
11月	0	68	69	134	177	154	57	14	0	673
12月	0	65	66	135	197	148	55	15	0	681
1月	0	63	65	130	182	125	52	16	0	633
2月	0	59	66	145	190	115	50	16	0	641
3月	0	62	72	159	193	133	57	18	2	696
年度合計	0	779	833	1,657	2,159	1,975	655	148	2	8,208
年度平均	0	65	69	138	180	165	55	12	0	684
令和1年度	認定無し	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	月計
4月	0	53	83	163	206	141	57	16	0	719
5月	0	59	69	159	221	131	56	20	0	715
6月	0	60	66	145	213	121	45	15	0	665
7月	0	66	79	149	226	106	50	20	0	696
8月	0	54	59	154	206	86	49	16	0	624
9月	0	61	85	160	211	101	54	14	0	686
10月	0	66	122	171	245	89	54	14	0	761
11月	0	58	100	166	226	80	67	16	0	713
12月	0	54	96	159	229	93	64	14	0	709
1月	0	52	93	145	203	93	59	13	0	658
2月	0	44	87	162	210	83	60	16	0	682
3月	0	55	99	165	185	111	50	18	0	683
年度合計	0	682	1,038	1,898	2,581	1,235	665	192	0	8,291
年度平均	0	57	87	158	215	103	55	16	0	691
年度合計差異	0	-97	205	241	422	-740	10	44	-2	83
年度平均差異	0	-8	17	20	35	-62	1	4	-0	7

※ 表記は延数

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
四位	柿添	若坂	石神		

令和元年度

事業実施報告書

さつま園

在宅介護支援センター

相談実績票

在宅介護支援センター さつま園

対象期間：平成31年04月01日～令和02年03月31日

作成日付： 令和02年05月01日

1 / 3

I) 相談件数

【全体】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	157	6	4	145	2
相談延人員	157	6	4	145	2
相談実人員	84	6	4	81	1
【通常相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	157	6	4	145	2
相談延人員	157	6	4	145	2
相談実人員	84	6	4	81	1
【ケアマネ相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	0	0	0	0	0
相談延人員	0	0	0	0	0
相談実人員	0	0	0	0	0

II) 相談内容別件数

【通常相談】	延件数	電話	来所	訪問	その他
01 介護・日常生活に関する相談	72	4	1	65	2
01 介護方法に関する相談	2	0	0	1	1
02 本人の心身に関する相談	49	3	1	44	1
03 介護者の心身に関する相談	6	1	0	5	0
04 認知症に関する相談	7	0	0	7	0
05 退院後の生活に関する相談	7	0	0	7	0
06 その他	1	0	0	1	0
02 サービスの利用に関する相談	75	1	3	71	0
01 介護保険サービス	32	1	3	28	0
02 保健福祉サービス	41	0	0	41	0
01 食の自立支援事業	30	0	0	30	0
02 外出支援サービス事業	0	0	0	0	0
03 介護用品支給事業	7	0	0	7	0
04 緊急通報装置事業	4	0	0	4	0
05 徘徊高齢者緊急通報体制整備事業	0	0	0	0	0
06 高齢者福祉電話貸与事業	0	0	0	0	0
07 その他	0	0	0	0	0
03 医療に関する相談	2	0	0	2	0
03 家計に関する相談	0	0	0	0	0
03 家族・社会関係に関する相談	0	0	0	0	0
03 権利擁護に関する相談	2	1	0	1	0
01 成年後見に関する相談	1	0	0	1	0
02 金銭管理に関する相談	0	0	0	0	0
03 消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0
04 高齢者虐待に関する相談	1	1	0	0	0
01 身体的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
02 ネグレクトに関する相談	0	0	0	0	0
03 心理的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
04 性的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
05 経済的虐待に関する相談	1	1	0	0	0
06 その他	0	0	0	0	0
04 その他	8	0	0	8	0
計	157	6	4	145	2

さつま園在宅介護支援センター

※ 年間目標に対しての反省点 ※

- ・ 居宅介護支援事業所のケアマネ業務のウェイトが大き
く、その問題ケースへの対応に追われた。広く町民への
実態把握訪問活動や医療との連携及び民生委員との連
絡・連携が十分ではなかった。
- ・ 地域包括支援センターや行政とのケース協働がうまくい
かず在介単独でのケース対応が多かった。

※ 評 価 点 ※

- ・ 地域包括支援センターや民生委員および行政機関からの
対応依頼に対しては、期限内に迅速な対応を行った。
- ・ 民生委員からの携帯への相談にも公休であっても対応
し、要望への対処を遅滞なく行った。
- ・ 福祉用具購入希望者への要望に応え、ニーズに沿
った売買を行った。

- ・「ふれあいサロン」や「ころばん教室」への参加を継続的に行い、一般住民に対してのレクリエーションや健康体操、福祉相談の実施に取り組み始めた。
- ・月2回のオレンジカフェを施設職員の協力を得て参加者の特性を踏まえて心身の機能向上と楽しくリフレッシュできる内容が展開できた。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
四 位	植 添	坂 元 成 芳	石 神	吉 野	

令和元年度

実績・反省

さつま園ヘルパーステーション

令和元年度 実績報告

さつま園ヘルパーステーション






- ◎実動時間 3,691 時間 30 分
- ◎実人数 46 名
- ◎前年度比 98.80% 【△44 時間 45 分】

	時間	件数
身体介護	566 時間	819 件
生活援助	1,369 時間 30 分	1,596 件
身体生活	643 時間	565 件
介護予防・総合事業	1,113 時間	1,113 件
合計	3,691 時間 30 分	4,093 件

- ・身体介護 312 時間、生活援助 56 時間 45 分少なかった。
身体生活 132 時間、介護予防・総合事業 192 時間増えた。
- ・最近では寝たきりの方が少なくおむつ交換の訪問は 1 件でした。
- ・要支援 1, 2 が増えています。

令和元年度 反省

- ・複数のヘルパーで利用者様宅へ訪問している中で少しの変化、状態を次回訪問するヘルパーやケアマネジャーに報告・連絡できた。
- ・利用者様家族とも連絡を取り合い、状態や相談等を行うことができた。
- ・認知症で被害妄想の方も多くなっています。声かけ、傾聴に努めコミュニケーションをとりながら支援できました。
- ・ヘルパー個々人が、園の研修や勉強会も積極的に参加しスキルアップしています。
- ・新型コロナウイルス感染について、さつま園での開催される予防対策会議の内容を再考検討し、訪問時マスク着用、消毒、検温、換気おこなっています。今後も新型コロナウイルスについての情報収集し感染拡大予防対策を徹底します。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任
				

令和元年度 事業実績報告書

居宅介護支援事業所さつま園

令和元年度事業実績報告・反省

居宅介護支援事業所 さつま園

介護給付 842 件 前年度比件 25 件増

予防給付 124 件 前年度比 12 件減（事業対象者 26 件含）

反省

- ・ 介護給付は、前年度と比較し微増であった。要介護度の高いご利用者は、施設入所又は入院を望まれる傾向が強く、在宅生活の支援の難しさを感じた。新規の相談依頼には対応を行ってきたが、積極的に地域に出向くまでには至らなかった。
- ・ 自立支援に向けたマネジメントを丁寧に展開して行くことで、次の支援につながると思われる。ご本人、ご家族が安心して望まれる在宅生活を継続できるように支援していくことが大切である。
- ・ 医療機関や関係機関との連携に対し、モバイルネットワークや連携シートの活用が十分ではなかった。今後、新規、入退院時など随時情報ツールを活用しながら十分な連携が必要である。

- ・地域住民へのアプローチでは、オレンジカフェや認知症サポーター養成講座等へ出向いて、認知症予防や啓発などの取り組みを行った。
- ・認知症の方への支援では、ご家族や地域住民との友好的関係作りが必要であるが、プライバシーに関わる問題もあり課題解決が困難なケースもあった。今後も、それぞれの問題については、各サービス事業所や医療機関、地域包括支援センター等との連携を図り充実した支援に繋がるよう努めていかなければいけない。